

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：平成30年4月27日

クラウンメロンの魅力の世界へ...

自民党「農産物輸出促進対策委員会」ヒアリング



○ヒアリングにおける主な意見 クラウンメロン中條支所長

特産物であるクラウンメロンの販路拡大に向け、平成27年から海外輸出に着手。海外における評価も高く、輸出量も急増中。

輸出拡大に向けた課題は、新たなマーケットでのプロモーション戦略とブランディングに対する支援のほか、質量ともに安定した供給体制を整えるためには「強い産地づくり」への支援も重要だと思う。



年度別輸出量



平成30年4月7日（土）静岡新聞（朝刊）

青果輸出 大使館もPRを

クラウンメロン支所長
自民党会合で要望

自民党農林・食料戦略調査会は6日、党本部で開いた会合で、県

「各国大使館の職員が現地の要人に日本の農産物の魅力をPRしてもらえれば、生産者側

温室農協クラウンメロンの宣伝費用を抑えられる」と強調した。同調査会の塩谷立会長（衆院静岡8区）は冒頭で「青果物の輸出拡大のために何ができるかを指摘してほしい」と述べた。党農産物輸出促進対策委員長の小泉進次郎委員長は「産地や農家がもうかる輸出を実現しないといけない」と語った。



Gulfood2018調査・PR (2018/2/22ドバイ)